

令和6年度 シラバス

科目	単位数	学年					
美術 I	2	1					
教科書番号・教科書名		副教材					
38光村 美 I 701		なし					
学習の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。						
評価の方法	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度				
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、作品を見て造形的な視点をふまえた自分なりの解釈をすることができる。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、自分らしい見方・考え方、あらゆる方で創造的にあらわしている。 (作品・ワークシート・観察)	・絵画・彫刻表現の活動において、自然や生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かした、形体や色彩、構成などの構想を練ることができる。 ・デザイン表現の活動において、目的や条件、美しさなどを考え主題を生成し、デザインの機能や効果、表現形式の特性を生かして構想を練ることができる。 ・鑑賞の活動において、自分の価値意識を持って、日本や諸外国の美術・美術文化に触れ、よさや美しさを言葉で表すことで、見方や感じ方を深めている。 (作品・ワークシート・観察)	・主体的に風景や自己、鑑賞作品を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 (ワークシート・ふりかえりシート・観察)				
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	絵画 ／鉛筆デッサン 「身近なものを描く ～動きのある手のデッサン～」	・オリエンテーション ・鉛筆の削り方 ・陰影のつけ方 ・形の取り方 (パースペクティブについて) ・紙コップのデッサン ・表面の質感の表現 ・モノを持った手のデッサン	・意図に応じて3種類の鉛筆や持ち方、芯の削り具合を変えることで、その効果を考えながら工夫してあらわしている。 ・形や陰影、質感などが感情にもたらす効果を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・身近なものを見つめ、感じ取った特徴や動きの面白さなどから主題を生成し、形や陰影、質感、用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴や動きの面白さなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	
	5				○	○	
	6	工芸 ／切絵 「動物のいる情景」	・ステンドグラスの鑑賞 ・色の組み合わせ ・画面分割の工夫 ・形の取り方 (パースペクティブについて) ・紙コップのデッサン ・表面の質感の表現 ・モノを持った手のデッサン	・諸外国のバロック期の建築に見られるステンドグラスの造形に関心を持ち、造形的なよさや美しさを感じ取る。 ・動物のイメージや特徴、動物のいる風景などから自分なりの主題を生成する。 ・主題をもとに、切絵の特性を生かして構想を練る。 ・構図や色などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	○ ○	○ ○ ○	○ ○
	7	鑑賞 ／葛飾北斎 「作家の生涯と作品」	・浮世絵の鑑賞 ・版画の多色刷り技法 ・北斎絵画から、次時の風景画への展開	・北斎の作品と他の浮世絵作家の作品を、形や色、造形的な特徴などをもとに比較し、北斎の作品を全体のイメージや作風、様式などで捉えている。 ・版画の多色刷りや江戸時代の文芸のはやりについて知り、日本の美術文化について見方や感じ方を深めている。 ・主体的に北斎の作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、次時の風景画制作の表現につながる鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○
	9	絵画 ／油絵(風景画) 「居場所」	・教科書や図録の参考作品鑑賞 ・油絵の使い方、準備、片付け ・描きたい風景を選ぶ ・スケッチ、写真撮影 ・下絵を描く ・着色 ・作品鑑賞、作品レポート	・風景を描いた作品のよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いについて主体的に考えようとしている。 ・油絵の基本的な使い方を理解し、特性を生かしながら、主題を追求して創造的にあらわしている。 ・心ひかれる風景を見つめ、感じ取ったことから主題を生成し、光と陰影、構図や奥行きについて考えながら構想を練っている。 ・自分の意図や作品に込めた思いについて言葉で伝え、共有することができる。	○		○
	10				○	○	
	11				○	○	○
12					○	○	
第3学期	1	デザイン ／デザインの鑑賞・表現 「情報をわかりやすく伝えるデザイン」	・ピクトグラムの鑑賞 ・物語の内容やイメージをもとにした デザインの構想 ・アイデアスケッチ ・下絵 ・着色 ・デザインプレゼンテーション (1人1分程度)	・ピクトグラムのデザインに関心を持ち、伝える内容や相手などから主題を生成している。 ・主題をもとに、形や色、構造などの構想を練っている。 ・形や色、材料、構造などを工夫し、見通しを持って制作している。 ・自分の意図やデザインに込めた思いについて言葉で伝え、写真や資料で共有することができる。	○	○	○
	2				○	○	○
	3						○